

GX形ダク管を新規追加

水道産業新聞

水道産業新聞社

大阪本社 電話(06)6312-3871

FAX(06)6312-3874

〒530-0027 大阪府北区堂山町1-5

東京本社 電話(03)5251-0303

FAX(03)5251-3802

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-19-10

国庫補助の歩掛表改定

RC配水池の耐震補強設計も

厚労省

厚生労働省水道課は、平成23年度水道施設整備費国庫補助事業に係る歩掛表を改定し6月1日から適用した。新耐震管であるGX形ダクタイプ鉄管の接合歩掛とRC配水池耐震補強設計歩掛を新規に加えたほか、水道用鋼管の内面塗装歩掛と既設管撤去工の一部追加を行った。都道府県知事には健康局長名で、都道府県水道行政担当課には水道課長名でそれぞれ5月31日付で通知と事務連絡を行っている。GX形管については、現場での施工例も増えているが、歩掛表に加わったことでさらに増えることが見込まれ、管路耐震化が進むことを期待する声も高まっている。

6月1日から適用

GX形管は、昨年度に日本ダクタイプ鉄管協会規格として制定されたことから、配管に必要な掘削幅を規定するとともに、継手接合歩掛を追加した。掘削幅の算定に必要な標準接合作業幅は150とした。また、継手接合歩掛では呼び径150mmの直管の場合、配管

RC配水池については水道施設の技術的基準を定める省令の一部を改正する省令が平成20年に制定されて以降、新たな基準に基づく配水池の耐震補強工事の施工例が増えたため、既設配水池の耐震補強設計の歩掛を新設する。耐震診断および耐震補強工事の実施設計を業務委託する場合に適用するもので、診断の結果、補強を必要としない場合や、診断を行わず耐震補強を実施する場合を想定し、診断と実施設計の基本歩掛を別々に示した。

鋼管の内面塗装では、近年、無溶剤形エポキシ塗装の使用頻度が増えているため、液状エポキシ塗装に加え、無溶剤形の塗装歩掛を追加した。ま

た、既設管撤去工については、管の布設替に伴う

既設管の撤去で、これまでの歩掛表では铸铁管およびダクタイプ鉄管の歩掛が設定されていたが、鋼管や硬質塩化ビニル管の撤去実績もあるため、これらの管種での「撤去管の切断」と「吊上げ積込み」についての歩掛を追加した。

工0・05、普通作業員

0・05、雑材料1%

異形管の場合は配管工0

・06、普通作業員0・

06、雑材料1%となっ

ている。なお、P-Li

nkの接合は直管部の歩

掛に、G-Linkの接

合は異形管部の歩掛に、

それぞれ30%を上限とし

て割増することができ